

○総合計画－達成指標分析シート

資料3

基本目標	思いやりとふれあいのある協働のまち【市民協働】
施策の柱	市民協働

目指す姿

- 市政に対する市民のアイデアや意見が活発に寄せられ、それらを活用してまちづくりが進められています。
- 年齢や性別を問わず、多くの市民が自らの知識や経験を活かし、地域の一員として様々な分野で活躍しています。
- 市民が自由な発想で積極的、継続的にまちづくり活動を行うことができる環境が整っています。

●事業の達成指標

項目名	現状値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	担当課
(主) 市民のアイデアや意見が市政に反映されていると感じる市民の割合	18.4%	-	24.0%	-		-	UP	まちづくり推進課
(主) まちづくりに関わりたいと思っている市民の割合	33.0%	-	31.9%	-		-	UP	まちづくり推進課
(客) まちづくり活動助成金交付事業数	23事業	52事業					130事業	まちづくり推進課

●施策の方向性①対話によるまちづくり

事業番号	事業名	担当課評価	現状分析・課題・対策	担当課
11101	市民との対話充実事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○自治会等の団体とのまちづくりミーティングや、あさけん（e）ポストの設置、エリア担当職員の配置などにより、市民の考えやアイデアを集め、市政への反映を図っている。</p> <p>○意見等が市政に反映されていると感じる市民の割合は5%以上アップしており、市民との対話に基づく市政運営が浸透しつつある傾向が感じられる。しかし、割合としては全体の1/4であり、まだまだ「対話」を推進する余地がある。</p> <p>○市民や団体等との対話の機会をより多く設けるため、まちづくりミーティングにおいては、これまで市が設定していた開催日時・場所を、団体の希望に応じて柔軟に対応するよう改善する。また、周知方法の工夫などによって参加団体の固定化を防ぎ、多様な団体との対話の機会の充実を図る。併せて、市内4箇所配置をしているエリア担当職員にもっと地域に出向いてもらい、情報交換や意見収集を行っていく。</p>	まちづくり推進課

●施策の方向性②まちづくりの担い手の育成

事業番号	事業名	担当課評価	現状分析・課題・対策	担当課
11201	まちづくり担い手育成支援事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○まちづくり活動に興味がある方から経験豊富な実践者まで、段階に応じたテーマを設定してセミナーを開催し、それぞれの段階における担い手のレベルアップを図っている。</p> <p>○27年度の参加者数は79人（3回）であり、前年の94人（3回）から減少しているが、ワールドカフェ体験や対象者をシニア世代に限定した地域デビュー講座など、まちづくりへの参加段階に応じて切れ目のないレベルアップを意識してテーマを決定した。</p> <p>○まちづくりに関わりたいと思う市民の割合がやや減少しているため、まちづくり活動団体にヒアリングを行うなど実際のニーズにあったテーマを選定し、ミスマッチの解消を図るとともに、自治会への回覧配布やSNSの活用など多様な方法により周知を行い、参加者の拡大を図る。</p>	まちづくり推進課

●施策の方向性③協働によるまちづくり

事業番号	事業名	担当課評価	現状分析・課題・対策	担当課
11301	まちづくり活動促進事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○設立から2年を経過したまちづくり活動助成制度は、27年度末時点で52事業に活用され、各種団体が行う様々なまちづくり活動の推進に寄与している。</p> <p>○しかし、団体設立時や新たな事業が軌道に乗るまで(2年)の助成期間が経過した後、制度の目的である団体の自立した活動に効果的に結びついているか検証を要する。</p> <p>○助成金を交付した団体に対する活動状況のヒアリングを行い、今後の制度運用の参考としたい。また、助成制度を活用しながら、新たな事業や団体の創設に向けた助言を行うとともに、制度をまだ活用していない団体に対しても積極的にPRを行うことで制度の活用を促していく。加えて、多様な団体のまちづくり活動事例を紹介するなど、情報発信を強化することによって若い世代など、新たな担い手が活動に参加する契機を創出し、まちづくりに関わりたいと思う市民の増加を目指す。</p>	まちづくり推進課

○総合計画－達成指標分析シート

基本目標	思いやりとふれあいのある協働のまち【市民協働】
施策の柱	自治会・広報活動

目指す姿

- より多くの市民が自治会活動に参加し、交流を深め、自主的、積極的に地域における活動が展開されています。
- 住民が地域の伝統行事や催事に積極的に参加するなど、活気ある自治会活動が展開されています。
- 広報誌、ウェブサイト等により、市民が必要とする情報や市民に伝えたい情報を適切に発信しています。

●事業の達成指標

項目名	現状値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	担当課
(主) 1年以内に地域の行事（お祭り、清掃、レクリエーションなど）に参加した市民の割合	44.8%	-	46.3%	-		-	UP	まちづくり推進課
(主) 市から発信される情報がわかりやすいと感じる市民の割合	50.8%	-	50.9%	-		-	UP	秘書広報課
(客) 地域社会活動補助金を利用している自治会の割合（年間）	23.5%	29.5%					30.0%	まちづくり推進課

●施策の方向性①コミュニティ活動への支援

事業番号	事業名	担当課評価	現状分析・課題・対策	担当課
12101	コミュニティ支援事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○地域コミュニティを支える自治会活動の活性化・円滑化に向け、自治会連合会活動等に補助金を交付している。</p> <p>○自治会集会施設建設等補助金については、27年度に13自治会に補助金を交付し、自治会費負担を抑制しながら施設・設備を充実することでより安心して快適な地域活動の展開を支援することができた。</p> <p>○集会施設の改築、改修には、毎年多くの要望をいただいている。予算との兼ね合いや築年数等を踏まえ、団体間の優先順位付け等の調整を丁寧に行いながら、計画的に進めていく。</p>	まちづくり推進課

●施策の方向性②地域活動への参加促進

事業番号	事業名	担当課評価	現状分析・課題・対策	担当課
12201	地域活動支援事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○地域社会活動補助金について、26年度に補助額の増加や補助対象品目の拡充、隔年の利用制限の廃止などの見直しを行った。その結果、補助金を活用する自治会の割合が増加し、多くの自治会で清掃用具や防災備品を活用した自主的な地域活動が展開されている。</p> <p>○しかし、目標値に向けて順調に推移する一方で、補助金を活用する自治会に偏りがみられるため、過去に利用がない自治会にも、地域の課題や問題点を補う一つの方法として有効に活用していただくことが望ましい。</p> <p>○補助金が積極的に活用されるように、自治会連合会などを通して継続的に周知していくとともに、地域力を高める先進的な事例があれば、広報紙やウェブサイト等において広く紹介し、全市的な取り組みとなるよう働きかけを行う。</p>	まちづくり推進課

●施策の方向性③協働によるまちづくり

事業番号	事業名	担当課評価	現状分析・課題・対策	担当課
12301	広報充実事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○広報紙、ウェブサイトともに、市民への適切な情報提供を行っている。また、動画・ツイッターで積極的に情報を発信するなど、SNSの活用にも力を入れている。</p> <p>○市民意識調査では、前回と同程度の約半数の方が市から発信される情報が分かりやすいと回答されており、一定の評価を得ていると言えるが、ウェブサイトにおいてはよく利用（閲覧）されるページとされないページで差があり、動画においては1動画あたりの閲覧者数が減少傾向にあるなど、コンテンツの魅力の面で課題が見られる。</p> <p>○ウェブサイト利用者の統計データを活用し、ページのターゲットと実利用者との乖離を修正する。また、SNSについては、新しい動画の企画を開始するなど、より魅力的なコンテンツ作りを進める。</p>	秘書広報課

○総合計画－達成指標分析シート

基本目標	思いやりとふれあいのある協働のまち【市民協働】
施策の柱	人権・平和

目指す姿

- 互いに認めあい、人権を尊重しあうまちが実現しています。
- 個性と能力を発揮し、誰もがいきいきと輝いています。
- 国籍の異なる市民が交流を深め、ともに支えあって生活しています。

●事業の達成指標

項目名	現状値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	担当課
(主) 人権を尊重しあえていると感じる市民の割合	64.7%	-	64.5%	-		-	UP	まちづくり推進課
(客) 人権啓発事業への参加者数(年間)	1,258人	1,342人		-		-	1,500人	まちづくり推進課
(客) 外国籍市民サポートボランティア数	253人	285人					300人	ブランド創造課

●施策の方向性①人権・平和の尊重

事業番号	事業名	担当課評価	現状分析・課題・対策	担当課
13101	人権啓発推進事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○人権相談（市、法務局）、人権教室（蘇原西保育所、那加保育所）、街頭啓発（イオン各務原）、人権同和講演会（あすかホール）などの人権啓発事業を継続的に実施している。</p> <p>○人権啓発事業のトータルの参加者数は、26年度に比べて100人程度増加しているが、前年度より減った事業もある。また、人権を尊重しあえていると感じる市民の割合が微減しているため、街頭啓発や講演会、セミナーなどの人権啓発機会のさらなる充実を図る必要がある。</p> <p>○法務局や人権擁護委員との連携や広報紙等への掲載により人権啓発事業を周知するとともに、市内大型ショッピングセンターでの街頭啓発や保育所などで人権教室を実施するなど、様々な機会を通して啓発に取り組む。</p>	まちづくり推進課
13102	平和意識啓発事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○事業開始から26年が経過し、折り鶴を毎年のように提供していただける方が多数いらっしゃるなど、市民に事業が浸透していると言える。</p> <p>○今後も引き続き、平和の折り鶴使節団の派遣、平和の日の黙祷、平和パネル展の開催などを通し、継続的に平和の大切さ・尊さを市民等に呼びかける。</p> <p>○平和の尊さを引き継いでいくためには、継続的に平和について意識していただくことが重要であるため、取り組みを形骸化、縮小させないためにも、平和パネル展においては展示内容等の更新や工夫によって関心を高めるなど、平和の大切さや戦争の悲惨さを伝えていく。</p>	総務課

●施策の方向性②男女共同参画の実現

事業番号	事業名	担当課評価	現状分析・課題・対策	担当課
13201	男女共同参画推進事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○27年度から、「第3次かかみがはら男女共同参画プラン」がスタートした。</p> <p>○「性別による差別的取扱いの禁止と個人としての人権の尊重」、「あらゆる意思決定の場に、男女が対等に参画できる機会の確保」などの基本理念に基づき、男女共同参画の意識づくりや、ともに生きる社会環境整備に取り組む。</p> <p>○「とも☆きらフェス」などを開催し、男女共同参画について考える契機とするなど、継続的な意識啓発に努める。また、各種委員会・審議会等の委員は依然として男性の割合が高いため、あて職や慣行などの解消や女性人材リストの更新、情報提供を進めることにより、女性登用率の向上、女性委員ゼロの解消に努め、女性の参画を促進する。</p>	まちづくり推進課

●施策の方向性③多文化共生の推進

事業番号	事業名	担当課評価	現状分析・課題・対策	担当課
13301	外国籍市民のための生活支援事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○日本語ボランティア登録数の増加により、外国籍市民サポートボランティア数が増加している。</p> <p>○きめ細かな支援を行うため、引き続き外国籍市民サポートボランティアの登録促進を図る必要がある。</p> <p>○ボランティア登録者のスキル向上を図り、多文化共生を促進する。また、日本語ボランティア登録者が日本語講師として活動していただけるように、毎週水曜日に開催している日本語教室の見学を呼びかけるとともに、日本語の教え方講座などを開催し、日本語ボランティアがより意欲的に取り組めるよう支援する。</p>	ブランド創造課